

2014 年 6 月 25 日

丸紅・INCJ が協働するコンソーシアムが、 ポルトガル・ブラジル水事業会社を共同で買収、 日本企業初となるポルトガル水市場に参画

株式会社産業革新機構(以下「INCJ」)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:能見公一)・丸紅株式会社(以下「丸紅」)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:國分文也)により構成するコンソーシアムは、ポルトガル最大手水事業会社である Administração e Gestão de Sistemas de Salubridade 社(以下、「AGS 社」)の 100% 株式を、スペイン大手建設会社である Sacyr Vallehermoso 社傘下のポルトガル子会社である Somague Ambiente 社より買収しました。INCJ 及び丸紅は各々 50% 出資します。

AGS 社は、ポルトガル国内に於いて 16 社、ブラジルに於いて 3 社を傘下に持つポルトガル大手の水事業会社で、約 150 万人に上下水処理サービスを提供しています。また、AGS 社は国際的にも評価されているアセットマネジメントシステム(※1)を有しており、効率的な資産管理システムを構築しています。

ポルトガルでは、現状国内の水道事業の民間への開放は 10%程度に留まりますが、今後自治体におけるコンセッションを通じた更なる民営化が予想されております。また、ブラジルも同様に民間開放のための法整備が整ってきており、両国とも将来性の高い市場と見込まれます。

INCJ は、AGS 社を拠点にブラジル等への将来的な展開を企図する丸紅の水戦略を後押しすることで、日本企業の海外水事業への進出を支援し、オープンイノベーションの一貫として、INCJ が保有する他の水事業ポートフォリオとの人材・ノウハウ・技術の交流を目指します。また、AGS 社の獲得によって蓄積される民営化ノウハウや水事業における知見の国内水事業への将来的な還流も視野に入れています。

なお、INCJ は、チリにて丸紅と共同買収した Aguas Nuevas 社、および豪州にて他社と買収した TRILITY 社を中心に、上下水道事業の事業経営に携わってきました。今般 AGS 社を買収することにより、欧州地域の水道事業に初めて参画することとなります。

(※1): 上下水道施設の効率的かつ効果的な管理運営の為のシステム

Administração e Gestão de Sistemas de Salubridade 社について

(アドミニストラサオン・エ・ジェスタオン・デ・システマス・デ・サルブリダーデ)

本社所在地 : Rua da Tapada da Quinta de Cima, Linhó 2714-555 Sintra Portugal

設立 : 1988 年 5 月 6 日

従業員数: 1,700 人(グループ全体)

給水人口: 約 150 万人

URL: <http://www.ags.pt/>

株式会社産業革新機構(INCJ)について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計 67 件・総額約 7,500 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス・原子力発電等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株)産業革新機構 企画調整室 望月・畑

東京都千代田区丸の内1-4-1

丸の内永楽ビルディング21階

電 話: 03-5218-7200(大代表)